



「臥竜鳳雛」



*タイトルの意味は？調べてみよう

2019・4・26 第2号

学年主任 森本 聡一郎

行ってきました、神鍋高原 新入生校外オリエンテーション合宿無事終了

2泊3日、(4月19日～21日)の校外オリエンテーション合宿は順調に日程の全てを終了することができ、無事帰着しました。反省点は幾つもありますが、それでも得たこともたくさんあります。「勉強とはこのようにするものだ」ということや、「大集団の生活では、意識して守らなければならないことがあるのだ」ということなど、今後の高校生活を意義あるものにするために、しっかりと生かして行ってほしいものです。合宿に行っていた良かったのか、真価が問われるのはこれからにかかっています。このような機会を与えて頂いた保護者の皆様にお礼申し上げます。

合宿後の具体的な取り組み:挨拶をしっかりと！部活動に加入しよう！！

(勉強などは当たり前です)

①挨拶と言葉遣い ※あ…明るく い…いつでも さ…先に(相手より) つ…伝わるように

まだ「先生、あんなー」と言う人がいます。15～16歳の年齢としてはかなり「痛い」部類に入るとでしょう。自分の言葉遣いは自覚できているのでしょうか。そもそも挨拶自体が心配です。食後、食器をカウンターに返却する時に無言のまま、ひたすら食器を運ぶキミ達。「ごちそうさまでした！」という一言があってもいいのに…。合宿から帰校しても疲れていたこともあるのですが、ここでなら挨拶してもよさそうだと思える場所でも、「さようなら」とか「お疲れ様」が言えない人たちがぞろぞろ帰っていきました。たかが、一言のことですが大切にしていきたい一言です。1年生は自然に挨拶できるように普段からよほど意識していく必要があります。授業の始めや終わりの挨拶だけでなく、先生方に出会うたびに何度でも挨拶する習慣を身につけてください。

②そんな元気があるのなら… 部活動加入届は4月中に

例年なら、3月中であっても入学予定者が練習参加するのが珍しくないのですが、今年は4月のこの時期になっても活動している1年生が少ないように感じます。部活動に入っていないと、「推薦入試で勝ち目がない」などという現金な話ではなく、「競争を勝ち抜く体力、精神力を鍛える」ということができないという点で、この学年が先々困るであろうことは火を見るより明らかです。行きかえりのバスの中や宿舎ではしゃいでいる時の喧騒(けんそう)は例年並みにありました。そんな元気があるのに何故部活をしないのか疑問です。

学力だけで勝負になるほど世の中は甘くはありませんので、普段から自分を鍛える努力をしておくことです。今のままなら、世の中が分かった頃に後悔するのに決まっています。周囲の様子を見てから決めるのではなく、結局は、キミ達が何をしたいのか、何をしに鳳鳴高校に入ったのかということです。

クラス対抗種目の結果

ドッジボール 優勝：1組

校歌コンクール 優勝：4組



校外オリエンテーション合宿を終えて

1組 土手下翔栄くん

2泊3日のオリエンテーション合宿に行って思ったことは、同じクラスの人だけではなく、他のクラスの人とも仲良くなったことです。勉強では、どの教科も集中してプリント学習や先生の話聞いていました。飯盒炊さんでは、班のみんなと協力して美味しいカレーライスを作ることが出来ました。このオリエンテーション合宿を通してクラスだけではなく、学年全体の絆が深まりました。先生に叱られることもありましたが、合宿で学んだことを生かして、これからの学校生活を頑張ります。

2組 善明 心さん

今回のオリエンテーション合宿の2組の課題は二つあります。一つ目は「5分前行動」をすることです。数人の遅れで全員の授業時間に迷惑をかけるということがありました。二つ目は「挨拶」をするという事です。宿舎の方々にしつかりと感謝の気持ちを伝えたり、採点をしてくださる先生方に「お願いします」という事など、当たり前の事を注意されました。まだ、課題点はたくさんありましたが、特にこの二つが目立っていたと思います。私は今回のオリエンテーション合宿で、2組の仲が深まったと思います。それは学習のグループ活動もそうですが、校歌コンクールに向けた練習で多くの人が様々な意見を出してとても充実した成長を感じる時間でした。帰りのバス内では、皆疲れているはずなのに、行きバスより笑顔を多く見ることが出来ました。しかし、これからは仲の良さだけでなく、団結力が大切になります。鳳鳴祭や普段の生活でも一人ひとりが支えあっているクラスを目指します。

3組 岩島 早苗さん

私たち3組は、この3日間のオリエンテーション合宿で勉学に対する向上心あふれる姿勢、お世話になった方々への感謝の気持ちや自然に親しみ自然の美しさを肌で感じることを学びました。初日の山登りは悪天候のため、延期になったものの集団行動で動きの再確認をすることにより、気持ちが引き締まり、オリエンテーション合宿を開始することができました。二日目は、普段とは異なる生活環境での生活に疲れを感じる人もいるのかと案じていましたが、お互いに協力して勉強を教え合うなど意欲的な姿勢が見ることができました。また、女子は全員が同じ部屋だったので充実した楽しい時間を過ごすことができました。ドッジボール大会や校歌コンクールでは、優勝はできませんでしたが高いモチベーションで臨むことができ、飯盒炊爨も満喫しました。この3日間で鳳鳴高校生としての良いスタートがきれたと感じています。

4組 月森 公貴くん

高校生活が始まり二週間弱で迎えたオリエンテーション合宿。期待と不安を胸に始めました。一日目、生憎の雨で楽しみにしていた登山ができませんでしたが、テストでは皆集中して取り組むことができました。二日目は雨でできなかった登山をすることになり、健康的な汗をかくことができました。午後からのドッジボール大会では、初のクラス対抗での行事だったので、自然と熱が入り、絆も深まりました。最終日は、待ちに待った校歌コンクールです。二日間クラスが一丸となり練習したことで思い出のコンクールとなりました。この合宿では、勉強を中心に鳳鳴生としての自覚をもち生活していく良い機会になりました。

■GW課題一覧 (提出日厳守)

英語	DUAL SCOPE (分厚い本) pp.38,40,59,62,88,90,106,108(4組はpp.41,61,63,91,109も) ※ノートに解答する。英文は完全な文で記入する(単語や記号のみは不可) 5/7に提出。5/14には答え合わせをして再度提出。
数学	1～3組 STAGE pp30-31 問題番号137～147, pp89-91 問題番号7～19 上記のA問題すべて ※余裕のある人はB問題も解きましょう。 4組 Hi-PRIME pp24-26 問題番号89～102, pp92-94 問題番号336～344 ノートに解き、答え合わせをして提出
国語	①『頻出 入試漢字コア2800』pp.4～11(練習用紙を5月7日に提出する。5月9日に小テストを実施する。) ②『体系古典文法学習ノート』pp.2～5(『体系古典文法』を参照しながら取り組むこと。答え合わせをして5月7日に提出する。)
探究	※4組のみ コースガイダンス事前課題(プリント左半分)

※5月7日(火) SHRで英単小テスト実施。“小さな努力の積み重ねから得るもの”

■5月行事予定

5月	8日(水)	生徒会立会演説会(6限)
	10日(金)	キャンパスカウンセリング
	11日(土)	月曜時間割・PTA総会
	13日(月)	代休
	21日(火)	中間考査(～24日)
	27日(月)	教育実習開始
	30日(木)	歯科検診(全学年)



■気象警報発令時の対応 生徒手帳P13～14参照

発令区分が市町村単位になっています。気象警報が発令された場合、基本的に次のことを頭に入れて行動してください。

1 休校となる場合

- (1) 篠山市に大雨、暴風、洪水、大雪、暴風雪、噴火、地震のいずれかの「特別警報」又は「警報」が発令された場合。
- (2) 篠山市以外の生徒については、それぞれの市に警報が発令され、篠山市に警報が発令されていない場合。
- (3) 生徒の利用する公共交通機関が途絶の場合

2 授業日の対応

- (1) 午前6時現在、対象地域に上記の状態がある場合は、自宅待機とし、午前10時までに解除された場合は、5時間目の授業より行きます。
- (2) 午前10時現在、上記の状態が続いた場合は、休校とします。
- (3) なお、警報が始業時間等に発令され多くの生徒が登校している場合には状況を判断し、適切に対処します。

《金言名言1》 千里の行も足下より始まる

老子（紀元前6世紀頃 中国の道教の創始者）

ごうほう ごうまつ
合抱の木も豪末より生じ

ひとかかえもする大木も、もとは小さな苗木であり

きゅうそう うてな るいど
九層の台も累土より起こり

層を成すほどの大きな建造物も土台があつてこそこのことであり、

せんり こう そっか
千里の行も足下より始まる

千里の遠い道のりも最初の一步から始まるのです。

スペインの作家セルバンテスが、その作品の中でラ・マンチャ郷土ドン・キホーテに語らせて一躍有名になった古い諺（ことわざ） *Rome was not built in a day.*（ローマは一日にして成らず）も、この格言と同じ意味を述べたものです。辛抱と我慢を重ねて天下を取った徳川家康になると、表現はぐっと暗くなって「人の一生は重き荷を負いて坂道を登るが如し。不自由を常と思えば不足なし」となります。

長い道のりだから途中で休むもよし、時には脇道に逸（そ）れて遊ぶこともあるでしょう。しかし、自分の歩むべき本道はしっかりと見据えておいてほしいものです。そして、自分を叱り、自分を励ましながら、一步また一步と頑張っていくましよう。如何なる大事業も一朝一夕に達成されるものではなく、長い歳月をかけた努力の上に築きあげられるものなのです。そのような重み故に、人々の評価を集めるのでしょうか。キミ達は、その最初の、しかも強い決意に満ちた一步を踏み出したばかりなのです。入学後3週間が経って、その決意は鈍っていませんか。

